

数学・理科甲子園2015実施要項

1 目 的

高校生が、数学、理科、科学技術等の知識、技能を用いて、日常生活と関連づけながら科学的に問題を解決するとともに、論理的に説明することによるプレゼンテーション等を行い、互いに切磋琢磨することにより、科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高める。

また、本大会を「科学の甲子園全国大会」の兵庫県予選と位置付け、科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し、提供することで、科学好きの裾野を広げるとともに、トップ層を伸ばすことを目的とする。

2 主 催 兵庫県教育委員会 後 援 甲南大学

3 期 日

平成 27 年 11 月 7 日（土）

4 会 場

甲南大学 講堂兼体育館等
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

5 日 程

9:30～10:00 受付
10:00～10:20 開会式
10:20～11:50 予選（個人戦、団体戦）
12:50～13:00 本選進出校発表
13:00～14:20 本選
14:25～14:55 チャレンジマッチ
15:00～16:30 決勝進出校発表、決勝
16:30～17:00 決勝の集計、表彰、講評、閉会式

6 対 象 者

兵庫県内にある国立、公立、私立の高等学校の 1、2 学年の生徒、中等教育学校後期課程及び高等専門学校等に在籍している同年次の生徒または学生

7 対戦方法及び順位の決定

- ① 学校対抗戦とする。
- ② 数学、理科、科学技術等に関する基本的な問題、応用問題、総合問題を、チームで協働して筆記競技、実技競技で競う。
- ③ 予選（筆記競技）：知識を問う問題および知識の活用について問う問題を、個人戦（数学分野 2 題、理科分野 6 題）と団体戦（数学分野 2 題、理科分野 6 題）の総合計により、本選出場 16 校を決定する。

本選（実技競技）：16 校が数学や理科にかかわる思考的、工作的問題や、実験、観察などの問題に挑戦し、予選（筆記競技）の成績とあわせて、決勝出場 4 校を決定する。

チャレンジマッチ：予選敗退校による、勝ち残り戦で実施する。

決勝（実技競技）：4 校が科学的知識を応用して総合的な課題に取り組み、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを競い、予選及び本選の成績も考慮して優勝、準優勝を決定する。

8 表 彰

優勝：1校、準優勝：1校、3位：2校

奨励賞（チャレンジマッチ）：若干校

優勝校は、平成28年3月18日（金）～21日（月）に実施される「第5回科学の甲子園全国大会」に兵庫県代表として出場する。

9 登録人数と引率教師

登録人数は1校につき6～8名（同一学校の高等学校等1、2学年（年次））、引率教師は1名とする。